

<別紙>

まちづくりコミュニティ形成支援システムの概要

◆ システム設置とコンテンツ配信範囲

- ・地デジ対応テレビの空きチャンネルに、自主制作コンテンツを手軽な操作で配信できるシステム。
- ・1チャンネルにつき、超小型送信ユニット（156.5mm×64mm×25mm）1台を装備。本装置を複数台組み合わせて使用すれば、複数チャンネルでの使用も可能。
- ・ケーブル接続の場合には、超小型送信ユニットから分配器を介して、ケーブルを経由して各戸に配信。一方、超小型送信ユニットにアンテナを取り付けることで、無線での配信も可能。1ユニットの無線による送信範囲は半径約1.5km。
（※電波の送信には、総務省の許認可必要。亘理町での実証テストは、各戸に対して有線で分配）
- ・本装置の設置場所は、仮設住宅の集会場以外では、公民館や市民センター、
或いは学校などの地区の公共施設を想定。

◆ コンテンツの作成・取り込み・配信

- ・自治体の職員や住民自らがビデオカメラで撮影した映像コンテンツを、パソコンに取り込み、専用ソフトで配信データに変換。次にこの配信データをパソコンからUSBメモリに書き込み、あとは、超小型送信ユニットにUSBメモリを差し込むだけで、予め地デジ放送で割り当てられた地域コミュニティ用のチャンネルに配信。
- ・将来的には、複数チャンネルへの配信・文字データ放送との組み合わせ・スケジュール配信等についても専用の「配信サーバ」を設置することで対応する予定。またライブ中継にも対応予定。

◆ 視聴者の操作・対応

- ・各戸に配備済みの地デジテレビがそのまま活用でき、追加機器の導入が不要。
- ・未使用のチャンネルを活用するため、既存のテレビチャンネルに影響なし。
- ・通常のテレビリモコンを使用するため操作が容易。高齢者含め誰もが簡単に扱える。

※超小型送信ユニットは試作機です。

※超小型送信ユニットの技術協力：

ルネサスエレクトロニクス株式会社 シマフジ電機株式会社

<超小型送信ユニット>



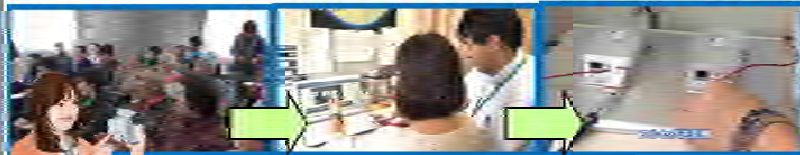
「ご近所テレビ(人が繋がるTV)」の誕生！

集会所(公民館、コミュニティセンター等)

家庭用カメラでコンテンツを撮影

コンテンツをパソコン上で地デジTV向けに変換

コンテンツの入ったUSBメモリを送信機に差込



キャスターは住民

送信ユニット

ご近所の話題を手軽に各世帯の地デジTVに配信

集会場を訪れる人が増加、引きこもり防止に効果

テレビ線を介して配信



町内会／自治会単位に利用

各世帯



いつものリモコン

<注>

本装置(送信ユニット)の使用に関しては、地方の総合通信局への届出が必要です。

本装置(送信ユニット)は、公共施設、集会場等に設置するもので、一般家庭に置くものではありません。

地デジTVの空きチャンネルを活用
「ご近所テレビ専用チャンネル」を設置。
いつものリモコンでチャンネル切り替え可。
高齢者も含め、住民全員が利用可能